事例No.	1161
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	鳥取県日南町

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・（行政改革）業務の効率化 ・研修会・勉強会

事例種類	人材育成の取組事例

事例内容・タイトル

未来の林業を担う林業技術者の育成

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

人材育成

鳥取県　日南町（未来の林業を担う林業技術者の育成）

- 本町は、鳥取県の南西部、中国山地のほぼ中央に位置し、町面積34,096ha、林野面積30,461ha（林野率89%）うち人工林面積19,156ha（人工林率63%）を占め、町内の素材生産量は間伐を中心に約8万㎥の材を搬出している林業地である。
- 林業労働者の高齢化等により林業労働者が減少する中、林業事業体とともに担い手となる人材育成に取り組んできた。今後は、間伐に加え皆伐再造林を推進する上で、更なる人材を確保する必要があり、平成３１年４月に日南町立林業アカデミーを開校した。
- このため、新たに譲与された森林環境譲与税を活用して、未来の林業を担う林業技術者の育成に取組む。
- 令和元年度においては、以下の取組みにより、全国から７名の研修生を受け入れ、林業アカデミーの適正な運営や現場重視の研修カリキュラムにより、林業を担う人材として成長し、新たに５名の雇用確保につながった。

□　事業内容

1　林業後継者育成対策事業

- 林業アカデミー運営経費

実践的な林業現場研修により技術と知識、専門家の講義から森林・林業の知識を習得し、地域から信頼される将来の林業技術者を養成する。

・運営団体（指定管理者）：一般財団法人日南町産業振興センター
・就業年数：１年間（230日1,380時間）
・募集人数：10名（R1：研修生７名）
・授業料：96,000円
・研修施設：アカデミー校舎
・演習林：にちなん環境林（FSC認証林）668ha

【事　業　費】26,758千円（うち譲与税13,379千円）
【実　　績】研修生７名に対して、
令和２年度に５名が町内の林業事業体へ就業した



（事業１：研修状況）



（事業１：卒業式）

□　事業スキーム

1　林業アカデミーの管理・運営を指定管理者（一般財団法人日南町産業振興センター）に委託。

2　運営は、専門講師以外に運営サポートチーム（森林組合等の林業事業体、林業機械メーカー、木材加工業者、国・県の研究機関、国・県・町の行政）の協力を得て研修を実施

□　工夫・留意した点

- 研修内容を充実されるために運営サポートチームと連携して取組む。
- 実践的な林業技術者の育成を目指すために現場での実習を中心に研修を行った。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	26,8366千円
②私有林人工林面積（※１）	11,999ha
③林野率（※２）	89.2%
④人口（※３）	4,765人
⑤林業就業者数（※４）	125人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」